

(宛名)

大日本帝国佐賀県東松浦郡

北波多村大字徳須恵

榑崎喜太郎殿

(差出)

第一軍野戦第十二師団第十

補助輸卒隊第一小隊第一分隊

岸本留蔵 拝

(本文)

拝呈 時下暑候の際如何御暮し

被遊候哉奉伺上候 降而小生儀

四月廿八日朝鮮梨花浦出発

し良菜館に一宿し所串館を経

て宴翁洞に着す 然るに五月二日

鴨緑江合戦の地を離る二里斗

の所にて弾丸の破裂するも克く

見ゑ候 此戦は敵の要地と頼

みしも少か二三時間に攻降せし由

五月三日右宴翁洞発し 義州

及鴨緑江を渡り 清国九連

城を経て安東県着し 沙

河鎮と云所にて無事軍務に

罷居候間乍他事御休意

被下度 然るに此四五日前十五里

余離地南山洞の合戦は是

迄少なき戦にして一日一夜の大合戦

我軍の戦死三千余 敵の死体

を見る五百有余 然るに露人

退却迄死体を納めし者幾

多数ならんとの話 最早新聞

紙上にて委細御承知有之

べく候へ共大略一報申上候 就

ては此状着次第御安否御報

知被下度 尤小生の宛名は上記

の通りにて何所迄も届き候間左様

御承知被下度 先は右要用

如斯に御座候 草々頓首

六月三日 岸本留蔵

榑崎喜太郎殿